


☆公害による健康被害を許すな!

☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



バラ 画・加納忠

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
 内本町松屋ビル10 370号
 TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
 E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
 URL http://oskougai.com/
 発行責任者 金谷 邦夫
 年間購読料一部2,000円(送料共)

道路沿道では 依然としてNO₂が高い傾向

第8回 大阪 NO₂簡易測定運動 (ソラダス 2016) 報告会

11月19日(土)午後、「ソラダス 2016」の報告会が大阪市内で、35の地域・団体からの52名の参加で行われました。

測定は今年5月19日～20日の24時間、府域66区市町村全てでカプセル9,238個が4,372名の手で設置され、健康アンケート4,873人分が寄せられました。

西川榮一実行委員長からの「NO₂測定の結果」、中村毅副実行委員長からの「健康アンケート集計結果」の報告の後、質疑と各地域・団体での取り組みの交流が活発に行われました。



「NO₂測定の結果」では、自治体測定局の数値から当日は平均濃度より少し高い濃度であったこと、カプセル測定結果から6点の特徴があったことが報告されました。

- メッシュデータの大阪府平均値で18ppb。大阪市区22ppb、大阪市に隣接する10市16ppb、その他の府域14ppbとなっていて大阪市域が最も高く、周辺に向かって低下する傾向。
- 浪速区、西区、港区、住之江区は過去3回のソラダス測定でワースト10に入っている。
- 港湾活動と大型・重量自動車交通の影響が、湾岸の西淀川、此花、港、大正、住之江で強く表れている。
- 環境基準下限の40ppbを超える地点がいくつもあり、60ppb、80ppbを超える地点もあって、平均濃度で捉

えきれない高濃度スポットが存在する

- 高濃度地点は自動車交通の影響が強く見られた。特に国道43号線と阪神高速道路が重なる地点(弁天町駅付近)、高速道路と幹線道路が集中(吹田・浪速)、埋め立て地と沿岸をつなぐ道路周辺で大型トラックが集中する地点(住之江)で、大変高い濃度を観測。
- 常時測定局が浪速区、港区になく、吹田の高濃度地点にも測定局がないなど、監視体制が不十分。

「健康アンケート集計結果」では、調査条件に制約があるものの次の特徴が指摘されました。

- ①ぜん息有症率はNO₂濃度が高い地域ほど高い
- ②ぜん息は小児だけでなく、年齢とともに増加し、成人・お年寄りも含め全年齢の問題
- ③ぜん息有症率は幹線道路沿いで高い
- ④ぜん息と診断されていない人の中に、ぜん息症状と思われる人が全体の5%も存在していた

最後に各地域・団体で、報告書作成や報告会の開催、行政との懇談などソラダス結果の活用などが提起され、測定結果のダイジェスト版を1月末にむけて発行し、測定協力者に届けることが報告されました。

参加者からは、「カプセルが、手作業で大勢の方の協力で作られていることを知り感動した」「各地域・団体で独自の報告書が作られているのに感心した」「労山の写真説明で、山の様子が年を経て悪化していることがよくわかった」「環境について、子ども達、保護者に発信を続けることが大切と思った」などの感想が寄せられました。

(中森芳明)

第45回 公害環境デー

社会を変えよう 未来をひらこう

2017年2月4日(土)

エルおおさか 南館ホール 他

分科会 (10:00～12:00)

「異常気象が招く災害からのちを守る」

「パリ協定発効と日本の課題」

「TPPと環境・暮らし」

全体会 (13:00～16:30)

「いま、改めて原発を問う」他 井戸兼一弁護士など